

超個性的な干潟のカニたち

大角 一尋・大角 涼斗(あいおいカニカニブラザーズ)

はじめに

干潟で、カニの生態観察をしていた時、いつものように、ヤマトオサガニを見つけ、その長い目をじっと見ていたら、これまでの経験から干潟には、長い目と短い目のカニがいる事に気づき、なぜ、長い目と短い目をしたカニがいるのか考えた。



方法

それぞれのカニについて、その特徴を整理し、その謎に迫った。

①干潟に生息しているカニを、目が長い種と短い種分け

目の長いカニ	目の短いカニ
オサガニ、ヤマトオサガニ、ヒメヤマトオサガニ、スナガニ、ハクセンシオマネキ、コメツキガニ、チゴガニ	ベンケイガニ、アカテガニ、クロベンケイガニ、ハマガニ、アシハラガニ、ケフサイソガニなど
オサガニ科、スナガニ科、コメツキガニ科	ベンケイガニ科、モクズガニ科

②生息しているところについて

	目の長いカニ	目の短いカニ
陸地	スナガニ科 スナガニ	ベンケイガニ科、モクズガニ科の一部
水没する泥 (満潮時水没)	オサガニ科	モクズガニ科モクズガニ (水中に生息)
水際 (満潮時水没)	コメツキガニ科、スナガニ科ハクセンシオマネキ	モクズガニ科ケフサイソガニ、タカノケフサイソガニ

③ツメの特徴について (食性が大きく影響している)

目の長いカニ	目の短いカニ
小さい、華奢、薄い、爪先は鋭く尖っている、内側に曲がっている	大きい、分厚い、爪先は鋭く尖っていない、大小の歯がある

※例外種 (目が長いものの、爪が比較的大きい種: スナガニ、ハクセンシオマネキのオスの片方の爪)

④食性について

目の長いカニ	目の短いカニ
砂、泥食	雑食 (砂、泥、植物、動物性のもの)

※例外種 (目が長いものの、雑食性の種: スナガニ)

⑤その他、目の長いカニについてのみ、ウェービング(求愛行動)を行う。

求愛行動をするカニ (ヤマトオサガニ、ヒメヤマトオサガニ、ハクセンシオマネキ、コメツキガニ、チゴガニ) ※例外種あり (ウェービングしない種: オサガニ。また、繁殖期になると、スナガニは、オスの体が赤くなる。)

結果と考察

①から⑤より、ほぼ、目の長いカニと目の短いカニについて、特徴で区分することが出来る。

それらから、目の長いカニは草食獣で、目の短いカニは、肉食獣(雑食)であると言える。

目の長い、草食獣であるカニは、肉食獣やその他捕食者に日々狙われており、自分の身を守るため、周辺を警戒し、捕食者よりも先に見つけるため、少しでも遠くを見ようと目を長く進化させてきた、と推察した。

また、目の短い、肉食獣であるカニは、目を長くすることよりも、獲物を捕獲し、食べやすく砕いたりすることに重点をおいた結果、爪を大きく進化させた、と推察した。

ただ、①で目の長い、と整理したカニの中で、肉食(雑種)に近い種がいる。それは、スナガニである。

まず、生息地については、陸生である。次に爪であるが、片方は、確かに小さく華奢で、内側に曲がっているが、片方の爪は、大きく(ベンケイガニ科、モクズガニ科ほどではない)、歯もあり、食性についても雑食性で、カニなども食べているなど、目の短いカニの要素も多く持つ。

ただ、スナガニは、とても目が良く、警戒心の強いカニで、泥干潟に生息しているカニと同様に、こちらに気づくと、いち早く巣穴深くに隠れてしまい、なかなか姿を現さない。また、大きな目を少しだけ覗かせ、周囲の様子を伺いながら巣穴から出てくる姿は、この調査で言うところの目の長いカニの姿そのものである。

今後も、日々の観察から、興味深いカニたちの生態について、考察していきたい。

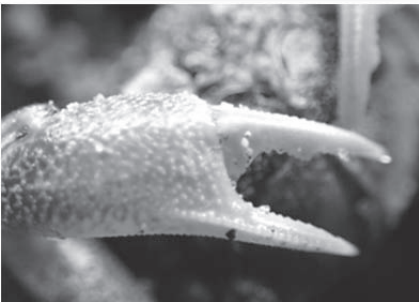
目の長いカニ：オサガニ科オサガニ



目の短いカニ：ベンケイガニ科クロベンケイガニ



目の長いカニの爪：コメツキガニ



目の短いカニ：アカテガニ



雑食性(肉食：フタバカクガニがアカテガニを捕食)



両方の特性を持つスナガニ

